

4. 乳癌の予後因子としてのホルモン  
レセプターの解析

(外科学第三) 日馬 幹弘, 大村幸三郎,  
小柳 泰久, 土田 明彦, 大野 正臣,  
海瀬 博史

(外科学第一) 加藤 治文, 小中 千守  
乳癌患者におけるステロイドホルモン・レセプター  
の予後規定因子としての評価を検討した。  
1979年6月より1986年5月まで当科において施  
行された乳癌治療手術症例のうちERを測定し評  
価可能である168例の集計を基礎に検討を加えた。  
PgRの測定は94例であった。レセプターは癌の進  
行, 増大に伴い陰性例が増加したが, これらがリン  
パ節に転移しやすいという傾向はなかった。健  
存率との関連ではリンパ節陰性例では差がなく,  
陽性例でレセプター陰性例が術後早期において低  
い傾向にあったが有意差はなかった。生存率では  
リンパ節陰性例では影響なく, 陽性例でレセプター  
陽性例では明かな延長を認めた。これらの結果  
はレセプターの存在が治療効果に与える影響のた  
めと考えられた。

5. 妊娠にて増悪した甲状腺機能  
亢進症の1例

(産婦人科) 柵山 恵, 井樋慎一郎, 郎  
鈴木 良知, 井坂 恵一, 斉藤 成一,  
高山 雅臣

(内科学第三) 本多 光一, 伊藤 久雄  
今回, バセドー病合併妊娠において, 重篤な中  
毒症状を来し, 幸いにも母子共に無事に退院でき  
た症例を経験したので報告する。

患者は, 28歳の初産, 6年前にバセドー病の診  
断を受け外来通院していたが, 妊娠後増悪傾向に  
てメルカゾールの増量により経過をみていたが, 妊  
娠32週頃より手指振戦出現し, 36週になり高血圧  
著名となり妊娠中毒症の診断にて入院となる。入  
院時所見では198/100の高血圧, 動悸, 手指振戦  
を認めたが, 尿糖及び蛋白は陰性であった。患者  
のアナムネーゼ聴取にて患者が児への影響を恐れ  
メルカゾールの内服を拒否していたことがわかっ  
た。入院後メルカゾール及びインデラルにて管  
理するに, 軽度の症状の平静化とFT4の減少を  
認めた。妊娠37週に入り自然陣発出現し, 2306g  
の男児をAp.9点にて正常分娩となったが, 母児  
共にとくに異常は認められなかった。分娩後, 母  
体の症状は徐々に軽快し, フォロー可能となった。

6. 実験的多嚢胞性卵巣症候群につ  
いての研究

(解剖学第二) 竹生 友二, 原田 鐵意,  
外野 正巳

規則正しい性周期を有する雌ラットを常時明る  
い環境下で飼育すると, その性周期は乱れ, やが  
ては排卵機能は停止し, 閉鎖卵胞由来の多嚢胞性  
卵巣を形成する。本研究は, 上記病態の発症の前  
段階から発症ならびに発症後の経過を長期にわた  
り内分泌学的かつ形態学的に検討し, ラットにお  
ける多嚢胞性卵巣の発生機序の解明を試みたもの  
である。多嚢胞性卵巣の発症に伴い, 内分泌的  
には, 血中ではLHの排卵サージの消失とFSHの減  
少ならびにEstrogenの亢進がみられた。発症後の  
長期にわたる経過では, LHはトニックレベルの  
分泌様式を, FSHは極めて低い値を一定して維  
持したのに対し, Estrogenは漸次減少の傾向を  
示した。卵巣の嚢胞化現象は, 血中Estrogen値  
の低下に伴いより顕著にみられた。

7. 下垂体腺腫術後尿崩症に対する  
影響因子の検討

(脳神経外科学) 山中 成人, 出口 之,  
丸野 透, 鈴木 信宏, 原岡 襄,  
三輪 哲郎

下垂体腺腫について, その術後尿崩症がどの様  
な因子に影響を受けるかを腺腫の内分泌学的・神  
経放射線学的特徴, さらに手術のアプローチ法・  
術中所見・摘出率をも含めて検討した。対象は本  
学脳神経外科で過去8年間に経験された43の下垂  
体腺腫手術症例(男19, 女24 再発例を除く)で,  
年齢は11~67歳(平均42.4歳)。術後尿崩症は24  
例(54.8%)に認められたが, うち18例(75%)  
は一過性のものであった。前述した各要素の中  
で腫瘍摘出率は術後尿崩症出現率と関係しており,  
全摘例(60%)・亜全摘例(63%)に対し, 部分  
摘出例での出現率(16.7% 術前より尿崩症を呈  
した1例を除けば0%)は有意に低かった。また  
術中所見で下垂体茎を確認でき, それを温存した  
症例, あるいは腫瘍被膜を残し内容のみを摘出し  
た症例について見ると, 出現した尿崩症は全て一  
過性であり, 術後尿崩症の後遺に関して有用な知  
見と思われた。